

平成30年度教育事業 「ボランティアスキルアップ研修&花山自然体験塾～冬編～」

- 1 趣 旨 法人ボランティアの資質と活動意欲の向上を図ることを目的として、ボランティア活動に必要な理論と技術について実践を通して研修を行う。また、花山青少年自然の家のフィールドを活用した自然体験活動を通して児童の豊かな心と生きる力を育む。
- 2 主 催 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家
- 3 概 要 (1) 期 日 平成31年1月12日(土)～14日(月)【2泊3日】: 法人ボランティア
平成31年1月13日(日)～14日(月)【1泊2日】: 児童
(2) 参加者 法人ボランティア 4名
大崎市立古川第四小学校4年生から6年生 43名
- 4 場 所 国立花山青少年自然の家

5 企画・運営のポイント

ボランティアの資質向上をねらいとして、1日目は、所長講話をはじめとして理論的な部分の研修と目標設定や実地踏査を行った。2～3日目は、実際に参加児童の自然体験活動に携わりながら、実践を通してスキルアップを図った。また、参加児童にとっては、冬の活動を通して豊かな体験と学びを得るいい機会となった。

6 日 程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22			
1月12日(土)	高速バス 仙台駅前 8:50 発 一迫総合支所前 10:00 着				到着	オリエンテーション	所長講話	昼食	目標設定・実地踏査・事前準備				夕飯のつどい	夕食 休憩	自主企画準備			入浴・就寝準備	消灯・就寝	
1月13日(日)	古川第四小学校 8:50集合 9:00出発				移動	入所式	☆アイスブレイク	☆野外炊事を体験しよう ～ひねりパンづくり～	☆冬の森を探検しよう ～スノーシューでアニマルトラッキング～				休憩	夕飯のつどい	夕食 休憩	☆ボランティア企画 ～お楽しみナイトプログラム～			入浴・就寝準備	消灯・就寝
1月14日(月)		起床・洗面・清掃	朝のつどい	朝食・退所準備	退所点検	☆歩くスキーにチャレンジしよう ～クロスカントリースキー体験～		昼食	☆ボランティア企画 ～冬のアクティビティ～	退所式	ボランティア: 振り返り 参加児童: 移動		高速バス 築館 16:40 発 仙台駅前 17:39 着							
											花山自然の家 15:00頃出発 古川第四小学校 16:00頃到着									

7 活動の内容について



【火起こし指導するボランティア】



【ひねりパンを焼いている様子】



【冬の御駒山登山】

8 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

【ボランティア】

満足：100% やや満足：0% やや不満：0% 不 満：0%

【児童】

満足：79% やや満足：21% やや不満：0% 不 満：0%

おおむね好評であったものの、雪不足のため、予定していたそり遊びやクロスカントリースキーの変更など、楽しみにしていた活動ができなかったために、満足度が若干下がったものと考えられる。

(2) 参加者の声

【ボランティア】

- ・ 所長講話では、これまでの実践の中では気づけなかったところに視点を当てた話を聞くことができ、有意義だった。また、ボランティア企画では、子供たちができることとできないことをもっとよく考える必要があったと反省した。御駒山登山では、子供たちの気づきや目線のすばらしさを学ぶことができた。
- ・ 初めて自分のグループを持ち、不安なことが多かったが、子供たちから話しかけてくれたり進んで行動してくれたり、助けてもらいながらやることができた。今回のスキルアップでは、やったことのないことをたくさんできて、様々なことを学ぶことができた。
- ・ ひねりパンづくりや登山など安全管理を意識してできた。

【児童】

- ・ 初めての体験がたくさんできたのでよかった。
- ・ ボランティアの人たちはみんなやさしかったし、友達ができてよかった。楽しい企画を考えてくれたのでとても楽しかった。
- ・ 仲の良い友達と活動班や部屋が分かれてしまって「帰りたい」と思ったけれど、ちがう学年やいっしょの5年生でも話したことのない人と仲良くなれたので、今思うと「楽しかった」「また行きたい」と思っています。
- ・ 初めてのことがたくさんで分からないことだらけだったけど、友達とボランティアさんたちと協力してできた。楽しかった。とてもいい経験になった。
- ・ 夏の花山と冬の花山では、それぞれ楽しいことが全然違い、いい経験だったし、普段しないことが多かったのがよかった。ボランティアさんもとても楽しい企画を用意してくれてありがとうございます。

(3) 成果

- ・ 雪不足のため、予定していた活動ができなかったが、臨機応変に今できることを判断しながら、御駒山登山などの活動ができた。
- ・ ボランティアが少ない人数ではあったが、少人数だからこそ、丁寧に準備を進め、じっくりと話し合うことができた。
- ・ 自然体験塾では、ボランティアを班付きにすることで、参加児童と良好な関係を築き、楽しんで活動できた。
- ・ 参加児童にとって、雪不足のため、体験したことのない冬の御駒山登山など初めての体験ができて、有意義な2日間となった。

(4) 課題

- ・ ボランティアスキルアップ研修については、時期が成人式や大学の補講と重なったため、ボランティアの人数が少なくなった。開催時期について、募集開始の前に事前の調査が必要だった。今年度初めての開催であり、次年度以降は、秋に行うことで事後の活動に生かせると考えている。
- ・ 自然体験塾については、スキルアップ研修と抱き合わせの形となり、初めての試みだったので、同じ小学校の児童を対象に実施したが、今年度の反省を生かして次年度以降は、参加募集範囲を広げたい。

担当：企画指導専門職 安達章美